

せいしんがい報

2013年1月1日 第95号

注目記事

◆1・2ページ◆年頭の挨拶

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 8 9-3 3 3 3 3 ㊟(0246) 8 9-3 3 3 3 4

グループホーム・ケアホーム レジデンスなごそ

メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市小名浜岡小名4-3-1
☎(0246) 3 8-3 5 2 0 ㊟(0246) 3 8-3 5 2 1

障がい者支援施設ふじみの園
ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 8 9-3 4 0 0 ㊟(0246) 8 9-3 4 5 4

虹のかけはし
〒971-8101 福島県いわき市小名浜丹波沼61-1
☎(0246) 7 3-0 1 1 1 ㊟(0246) 7 3-0 1 1 2

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 7 3-2 0 7 7 ㊟(0246) 7 3-2 0 7 8

手打ちうどん 天眞庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎・㊟(0246) 7 7-2 0 3 3

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 6 5-5 7 0 0 ㊟(0246) 6 5-5 7 0 0

放課後等児童デイサービスチャーむ・
地域生活支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 7 3-2 0 3 3 ㊟(0246) 7 3-2 0 3 4

多くの変革の中で 理事長 松崎 有一

多くの皆様に支えていただき、新しい年を無事迎える事ができたことに感謝しながら今年も、一步一步あゆんでいきたいと思えます。

考えてみると、昨年は、大きな出来事があり大変な一年でした。世界では、色々な出来事がありました。特に、米・中・露・韓国などの世界のリーダー交代や欧州債務危機などの大きなニュースが飛び込んできました。

さらに、日本においては、衆議院選挙で自公が政権奪還で新政権の誕生と世界の指導者の交代が軒並みに変化し、今後の世界のうねりが刻々と変化してきています。又、近隣諸国との領有権問題で外交問題も大きな出来事がありました。一方、ロンドン五輪でメダル獲得最多の38個獲得やi P S細胞の山中教授にノーベル賞受賞などの明るい話題もありました。

障害福祉領域に目を移しますと、昨年6月に「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」が成立しました。

①題名は、「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」とする。②法の理念などは、保護の対象から権利の主体へ、そして、医学モデルから、社会モデルへの障害概念の転換。③障害の範囲として、慢性疾患に伴う機能障害も対象に。④障害程度区分に代わる支給決定の仕組みの改革。⑤地域生活が可能となるような支援サービス体系の見直し。⑥地域移行の促進。⑦地域生活の基盤整備。⑧利用者負担を応能負担に。⑨相談支援と権利擁護に関すること。⑩報酬と人材確保に関すること等多岐に亘る改革が待ち受けています。このように、法制度改革が本格化してきており、目を離すことができない状況が続きますが、法人経営に関しても大きな影響を受ける可能性がでてくると考えられることから、当法人内改革がもたらされてきている時期と考えます。

ここは、多くの方々のご指導を受けながら役員一丸となり難極乗り越えていきたいと思えますので今年もよろしくお願いいたします。

新年を迎えて やしおみ荘 施設長 紺野健一郎

東日本大震災を経て、復旧から復興へと着実に世の中は加速しており、また、いわき市では避難者などの仮の町構想等もあり、今後は特に福祉、医療分野の充足が欠かせない状況下にあります。救護施設にては、支援の機能強化、セーフティネット機能、地域生活移行支援事業の推進及び充実が求められ将来にわたり、救護施設の期待は高まってきているものと思えます。

このような中で、雇用、経済の低迷等があり全国の生活保護受給者が211万人を超え、過去最多を記録、今後とも継続加速することにかんがみ、救護施設の役割の重大さも増してきております。

また、昨年10月の障害者虐待防止法の施行により、

入所者の人権擁護も強化され支援の質の向上がより顕著になっている状況であります。

さらに、低所得者との均衡のもと生活保護基準の見直しも図られようとしており、効率の良い利用者及び地域社会のニーズに対応した、高いスキルを持った救護施設の運営が必要となってきています。これからは、法人として人材育成を基本とした支援の専門性を高めることも必要不可欠となってきていると思慮されます。

今後とも社会福祉法人の経営理念に添って地域と共生し、質の高い安心感のあるサービス提供に取り組んでいく所でございますので、地域及び関係機関の皆様のご御理解、御協力の程よろしくお願いいたします。

2013年 新年のごあいさつ



◆就労継続支援B型・虹のかけはし・ ワークセンターしおさい・天真庵 管理者 永沼 憲一

新年、あけまして おめでとうございます。
皆様健やかに新たな年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

いまだ記憶に新しい東日本大震災から、約2年が過ぎようとしております。

福島県では、何と言いましても、原発被害の問題が山積みしております。ご自宅が避難区域等に該当し、いまだ故郷に帰れない方々が多数いらっしゃいます。

このような現状をうけ、今後国としても、原発に関してどの様な施策を選択していくのか、判断が問われます。

他にも景気低迷、デフレ、消費税、年金、少子高

齢化等々、日本が抱えている問題は多数存在します。

先行き不透明な状況ではありますが、私達が安心して暮らせる国にする為に、小さなことでもいい、どのような一歩を踏み出すべきか、そんなことが問われているのでしょう。

福祉についても、障害者虐待防止法を初めとして、福祉ニーズに対応するために求められる事柄が多々存在してきますが、虹のかけはし3事業所職員一同少しでも利用者の皆さんが安心して通え、充実した活動ができる事業所づくりに努めてまいりますので、本年もどうぞ皆様、ご指導ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆デイサービスチャーむ・日中一時支援事業 管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。今年も、チャーむ・ウィズの名前にふさわしく利用者の皆様、地域の皆様に愛され支えられて新しい年を迎えることができたことを心から嬉しく思います。

平成24年度より、自立支援法に基づく「児童デイサービス」は廃止され、児童福祉法に基づく、未就学児対象の「児童発達支援」と学齢児対象の「放課後等デイサービス」に移行されました。チャーむでも、一人ひとりの年齢や発達の段階に合わせた適切

な支援を心掛けてきました。

幼児期から、ライフステージに応じた一貫した支援ができるよう、事業所、学校、家庭、地域と連携し、子どもたちをしっかりと支えていくとともに、運動面や精神面の発達を促し、地域で生活する力が身に着くよう子ども達が持っている力を十分引き出せるよう支援していきたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。

◆ヘルパーステーションあくていぶ

新年明けましておめでとうございます。
昨年中は、色々とお世話になり有難うございました。「笑顔が一番」という言葉通り、笑顔が絶えない

管理者 鈴木 美智

1年にしたいと思っております。

本年も、皆様の素敵な笑顔に会えるよう、努力してまいりますので、皆様、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

◆グループホーム・ケアホーム 管理者 小野 るみ

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。
今年も、利用者お一人おひとりが楽しく地域生活を送れますよう、利用者の主体性を尊重し、支援員・

世話人が一丸となって支援させていただき所存でございますので、変わらぬご理解、ご厚情のほどを宜しくお願い申し上げます。

◆地域生活相談室せんとらる 管理者 渡辺誠二郎

新年あけましておめでとうございます。
昨年は事務所を勿来から小名浜に移転し、多くの相談に対応できるように相談員を増員いたしました。また昨年は震災からの復興元年としても、多くの皆様のお力をお借りし、日々の相談業務に取り組んでまいりました。いわき市の利用者様に限らず、避難生活をされている相双地区の方々からの相談も

あり、まだまだ福祉サービスを利用していく上で、震災の影響は色濃く残っていると実感しています。私たちにできることは、日々の相談支援の中で、多くのニーズを聞き対応していく事で、少しでも安心した生活が送れるように相談事業の充実を図る所でございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

日帰り旅行 やしおみ荘

10月19日（金）の日帰り旅行は、ホテル美里での会食とスパ・リゾートハワイアンズでショーを観賞しました。当日は天気も良く「利用者たちの日頃の行いが良いからだね」と笑いながら、ホテル美里のバスに乗り込み出発しました。

食事はとても素晴らしく、全員で「美味しい、美味しい」と声を弾ませ、ゆっくり味わって食べながら会話と食事を楽しみました。



スパ・リゾートハワイアンズでは、明るく躍動的なフラダンスとタヒチアン

ダンス、情熱的なファイヤーダンスなどポリネシアの踊りのステージを見てきました。カメラを持っている利用者は、記念に残そうと一所懸命でした。ファイヤーダンスが始まると上体を前のめりして見入っていた利用者も少なくありませんでした。一緒にダンスを体験するコーナーもありましたが、会場で踊る事が恥ずかしく他の来場者の方が初めてのダンスをどのように踊るのかドキドキしながら見ていました。

ファイヤーダンスのあまりの力強さとフラダンスの美しさ、そして福島復興を願って各地より見学に来て下さる人々の優しさ。心身が温かくなったのは、決して会場の温度が高かっただけではないように思いました。

多くの来場者数により、フラガールとの写真撮影ができなかったことが悔やまれますが、それでも楽しかったと笑顔で話してくれた利用者者に感謝した日帰り旅行でした。

一泊旅行 ～東京湾アクアラインと房総小湊温泉の旅～ やしおみ荘

10月3日（水）～4日（木）、一泊旅行へ行ってきました。

施設内もだいぶ高齢化が進み、参加出来る人数が年々少なくなってきましたが、参加される方は前々から旅行の為に準備をするなど、楽しみにされている様子が伝わってきました。

さて、出発当日は、あいにく台風が近づいているということで、目的地に近づくにつれての雨。一日目は鴨川シーワールドと、施設内の見学であった為、さほど雨には悩まされず水槽の見学から始まり、シャチやイルカのショーを見学しました。インストラクターの指示に従い、高いジャンプを見せてくれたり、イルカとインストラクターの会話を聞いたり、驚きながらも楽しく鑑賞しました。

宿へついてからはまず温泉へ入り、続いてお待ちか

ねの宴会でボリュームいっぱいのお食事を楽しんだ後は、カラオケタイムとなりそれぞれ自慢の歌声を披露していました。



2日目は朝こそ雨でしたが、出発する頃には快晴となり1つ目の目的地、海ほたるへ向かう際には、富士山も顔を出し、皆を歓迎してくれているようでした。その後、昼食と散策を兼ねた横浜中華街ではそれぞれ、思い思いに楽しまれたようでした。

未帰省者外出 ふじみの園



木の葉も色づき始める10月、ふじみの園では男女に分かれて未帰省者外出に行ってきました。男子はアクアマリンとららミュウを巡るコースと関の湯でゆったりと過ごすコースに分かれ、利用者計9名が参加しました。女子はかんぽの宿での日帰り入浴・会食コースと小名浜探訪コースに分かれ利用者9名が参加しました。アクアマ

リンに行った方々は、久しぶりの水族館に童心に返った様子で魚を観賞していました。関の湯、かんぽの宿へ行った方々は温泉に入り、ごちそうを食べて日ごろの疲れをゆっくりと癒していました。行った場所は異なりましたが、それぞれの場所で皆が秋（特に食欲の秋）を満喫してきたようでした。



通所事業部合同クリスマス忘年会(保護者との懇談会) 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

12月20日(木)、ホテルアクセスにて3事業所合同でクリスマス忘年会が開かれ、利用者、保護者、職員合わせて30名が参加しました。

目の前に運ばれてくる料理の数々に目を輝かせ、あっという間に食べ終える利用者ばかりでした。利用者全員が今年1年を振り返り、自己紹介と共に一言ずつ発表していきました。それぞれが、来年の決意を新たにしていました。

食事の後は皆が一番の楽しみであるカラオケを行いました。カラオケが始まると、リクエスト曲を熱唱し、時には皆集まって大熱唱となりました。「楽しかった～」との言葉も聞かれ、思い出深い時間を過ごすことができました。

来年もまた、健康に気をつけてお仕事頑張ってもらいたいと思います。



メリークリスマス クリスマス会 ふじみの園

12月24日(月)クリスマスイブのこの日に、結婚式場パレスいわやにてクリスマス会が行われました。男



性はスーツを着ていつもより表情も凛々しく、女性は華やかな洋服とお化粧でまるで女優の様です。会場に着くと大きなクリスマスツリーを見ながら「今年のプレゼントは何か」「今年はどうなごちそうかな」と期待が膨らみます。会が始まり、次々と運ばれてくる豪華な食事に舌鼓を打ちながら、今年の思い出や出来事を写真で振り返りました。その後は皆が大好きな菊池章夫さんの歌謡ショーです。すてきな歌声に誘われ舞台上上がってしまう方もいました。

そしてお待ちかね、サンタさんの登場です。プレゼントを手渡される皆の表情はまるで子どものように輝いていました。今年のプレゼントは素敵なコップでした。サンタさんにまた会えるように利用者、職員ともに来年も頑張りますと心を新たにしました1日でした。

クリスマス会 やしおみ荘

12月25日(火)にクリスマス会が行われました。準備を行っている中「今年は何をやるの」という声も聞かれ利用者の方々が楽しみにしている様子が見えました。

クリスマス会の最初に「きよしこの夜」と「ジングルベル」をみんなで歌いました。皆で手拍子をしながら

歌う中、歌が好きな利用者の方は前に出てマイクを使い熱唱し、楽しまれていました。三角帽をかぶりながらDVD鑑賞等行った後は、待ちに待った会食の時間。チキンにケーキにジュース等々、クリスマス雰囲気味わいながらの会食となりました。



芋煮会 チャーむ

10月8日(月)、晴天の中、遠野オートキャンプ場にて親子参加の芋煮会を行いました。早いもので芋煮会も4回目。一番大変な炭熾しも手際よく、どんどん進んでいきました。メニューは焼肉、やきそば、豚汁でよっぽど美味しかったのか、びっくりするぐらいの量を食べる利用者さんも…おなかのぼっこり出てしまいました。

レクリエーションで音楽を流しながらシールつきのペットボトルを隣の人にまわしていき、音楽が止まったところで、ペットボトルを持っている人が眉毛の形

や涙のシールなどをつける「爆弾ゲーム」を行い、次々に面白い顔ができていき、皆で笑いあいました。

多数参加していただき、とても楽しい思い出の一日となりました。



植田歩行者天国 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵



10月8日(月)、植田商店街歩行者天国に参加しました。

天候にも恵まれ、各事業所が、朝から大忙しで準備に取り掛かりました。

午前9時からパンやうどんの販売を開始し、元気いっぱいな利用者の「いらっしゃいませ」の音が響きわたりました。

お昼近くになると天真庵は大忙し。利用者みんなが協力し、おいしいきつねうどんを販売しました。

虹のかけはし、ワークセンターしおさい、天真庵のコーナーには、それぞれに行列ができていました。普段とは違った形で接客対応で、うれしい忙しさの一日でした。

来年も完売目指して頑張るぞ。

健康ウォーキング ふじみの園

11月9日(金)、健康ウォーキングを行いました。コースは園を出発して日課で歩いている散歩コースからいつもお世話になっている理容所を經由して園に戻るという3kmの道のりです。途中で給水所を設け水分補給をして一休みしました。天気にも恵まれ遠野町の紅葉で色づいた美しい山々の景色を眺めながら歩きました。利用者の体力に応じて歩く距離は異なりましたが、誰一人リタイアする事無く園まで歩く事が出来ました。園に戻ってからはお昼ご飯として山菜おにぎりや豚汁等を食べました。歩いてお腹が空いていた為か

いつも以上に美味しく感じられました。皆さん歩き疲れた様子でしたが心地よい疲れだったようです。



ボウリング大会 虹のかけはし

11月9日(金)、午前中の作業を終わらせて昼食を摂った後、小名浜ゴールドレーンにてスポーツの秋にぴったりなボウリング大会を開催しました。会場に着くやいなや、各々が好みのボールを選び颯爽とボウリング大会が開始されました。

自分の順番がまわってくるたびに笑顔がみられ、ボールを投げた後のピンに当たるまでの利用者は期待と不安の入り混じったなんとも言えない愛くるしい表情がみられました。また、自分のことのように大喜び

するなど一時会場は大盛り上がりの歓声につつまれました。

普段の作業仲間としてのコミュニケーションとはまた一味違った、心の底から喜んだり悔しがったりと素の表情をみせてのふれあいが多く見受けられました。最後は名残惜しそうに「楽しかった」「また来年が楽しみ」など感想が聞かれました。利用者そろっての楽しい一時はとても幸せな時間になったようでした。

もちつき ふじみの園

12月27日（木）餅つきがありました。当日はチャーむの子ども達も来園し、にぎやかに行われました。毎年恒例の行事ですが、皆とても楽しみにしていた様子でした。と言うの

も一生懸命お餅をついた後には…そう、とっても美味しいあんこ餅、黄粉餅、ゴマ餅が食べられるからです。美味しいお餅の為に、皆一生懸命杵を下ろしていました。



平成24年度 第2回 障害者施設職員研修会 (機能訓練・健康管理担当者コース)に参加して

ふじみの園 副主任ケースワーカー 浄土 洋輔

10月17日～19日の3日間、東京都新宿区にある全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）にて、障害者施設職員研修会（機能訓練・健康管理担当コース）に参加し、機能訓練や運動療法について学ぶことができました。

日頃支援で行なっている事がいつの間にか流れ作業になっていた部分がありました。ADL支援、運動や歩行等全ての場面で、利用者の行為や言葉、動き等それぞれが持つ意味をしっかりと認識し支援を行う事

で、利用者の身体機能の維持・向上と可能性が広がる事を感じました。また、栄養マネジメントや福祉用具の使用方法等、そこに確かな知識がない事の危険性を痛感し、自己研鑽により、確かな知識として獲得し理論的に行えるようにする事で支援の質を高めていきたいです。今後は日課の運動や園内歩行において、今回学んだ内容に取り入れ更なる利用者の機能維持・向上に努めていきたいです。

人事異動

- 小野 るみ (旧) 入所事業部ふじみの園生活支援部課長
(新) 共同生活事業部 共同生活介護・共同生活援助メゾン・ド・あたご、コーポおかおな、レジデンスなこそ課長兼管理者
- 渡辺誠二郎 (旧) 入所事業部やしおみ荘生活支援部主幹心得
(新) 相談支援事業部せんとらる主幹兼管理者

寄付を頂いた方

佐藤理容所 様

これからの予定

やしおみ荘

- 1月
- ◎初釜
- ◎新年会
- 2月
- ◎園児との交流会
- ◎社会性自立支援
- 3月
- ◎ビデオ鑑賞会

ふじみの園

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎豆まき
- 虹のかけはし
- 1月
- ◎新年会

2月

- ◎カラオケ大会

ワークセンターしおさい

- 1月
- ◎新年会
- ◎カラオケ大会

グループホーム・ケアホーム

- 1月
- ◎合同新年会

児童デイサービスチャーむ

- 1月
- ◎新年会
- 2月
- ◎豆まき

3月

- ◎ひなまつり

天真庵

- 1月
- ◎新年会

編集後記

新年を迎えるにあたり、毎年「今年の目標」が頭をよぎります。新しい年を新たな気持ちで迎える中、自分も一つ前に進む気持ちが「今年の目標」込められます。しかしながら毎年目標はなかなか達成されず。今年もま

た新たな目標を思い浮かべるのであります。

不惑の四十を迎え、はや2年。一年、一年を迷いながら、ただただがむしゃらに過しております。「今年の目標」は遅ればせながら「四十にして惑わず」さてきてどんな一年になることやら…皆様にとりましても幸多き一年でありますように。